

ひこね 市議会だより



市政に届けたい、私たちの願い

あなたから彦根市に
望むものは？ 市議会が
お聞きします

新しいまちの確保 商業施設の増加 自然の確保 よしまち教育環境



令和6年9月定例会 (9月2日～10月9日)

- 9月定例会で決まったこと... 2～4, 18～21
- 代表質問・個人質問 5～17
- お知らせ 22～24

広聴委員会で皆様のご意見をお聴きしました。

インターネット中継は [彦根市議会](#) で検索

9月定例会の結果

9月定例会の結果

原案のとおり
可決・同意・採択・認定・適当
不採択

予算関係 4件
条例関係 7件
諮問 6件
委員会議案 1件

決算関係 4件
その他の議案 4件
請願 1件
意見書 1件

請願 2件

9月定例会 議案の審議結果

会期：9月2日(月)～10月9日(水)

■ 全員賛成で可決等した議案等

項目	番号	件名
議案	64	令和6年度(2024年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	65	令和6年度(2024年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	66	令和6年度(2024年度)彦根市病院事業会計補正予算(第1号)
	67	彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案
	68	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	69	ふるさと彦根応援寄附条例の一部を改正する条例案
	70	彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案
	72	彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案

項目	番号	件名
議案	74	令和5年度(2023年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて
	75	令和5年度(2023年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	76	令和5年度(2023年度)彦根市下水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	77	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
	78・79	彦根市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
委員会議案	80	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
	4	彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案
諮問	1～6	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

■ 賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 一：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	八橋	堀川	北川	小川	辻	長崎	伊藤	黒澤	疋田	和田	森田	戸崎	小川	矢吹	上杉	中野	馬場	林	奥野	森野	安澤	野村
				睦子	英明	龍二	達也	元気	隆史	真理子	任男	容子	茂樹	穂子	一繁	充	克司	吉則	安子	正敏	正剛	和子	利幸	嘉己	克彦	勝	博雄
議案	63	令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	71	彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73	彦根市子どもセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	81	令和5年度(2023年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	2	彦根市立ふれあいの館の存続を求める請願書	不採択	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書	不採択	○	○	●	●	○	○	退席	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	えん罪被害者の救済のための「刑事訴訟法の再審規定の早期改正を求める意見書」の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	4	えん罪被害者の救済のための刑事訴訟法の再審規定の早期改正を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※請願第3号については、可否同数につき議長の裁決により不採択。

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	16	令和5年度(2023年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	17	第36期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	18	第27期株式会社夢京橋の決算状況について
	19	第21期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	20～25	市の債権の放棄について
	26	令和5年度(2023年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	27	令和5年度(2023年度)彦根市の健全化判断比率等について

9月定例会に提出された議案等の詳細についてはこちらから



議案一覧・議決結果



意見書・決議



このような討論がありました

討論の対象議案 議案第71号 彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案 **賛成**

ふれあいの館は子どもセンターに集約することで、財源を効果的に活用し、子育て支援や青少年育成の機能を強化できる。市内には他にも子育て支援拠点があり、閉館後も利用者に適切な施設を案内する体制が整っている。限られた財源の中で、子育て世代の居場所を確保するためには、この集約が必要なため賛成。

討論の対象議案 議案第71号 彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案 **反対**

公共施設等総合管理計画には廃止の記述がなく、修理済みで問題ない施設を閉鎖するという提案が突然に行われた。市民への十分な説明や代替案の提示もなく、反発が出ている。また、閉鎖後の施設利用についても明確な計画がない。拙速な決定に市民の納得が得られないため反対。

討論の対象議案 議案第71号 彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案 **賛成**

請願第 2号 彦根市立ふれあいの館の存続を求める請願書 **反対**

①ふれあいの館の老朽化と修繕費増大が他の子育て支援策に影響すること。②代替施設や子どもセンターの拡充方針が示されたこと。③地域住民や活動団体への最大限の支援を約束されたこと。以上により、未来の子どもたちにツケを残さない持続可能な彦根市のため、議案第71号に賛成し、請願第2号に反対。

討論の対象議案 議案第63号 令和6年度(2024年度)彦根市一般会計補正予算(第5号) **反対**

議案第73号 彦根市子どもセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて **反対**

請願第 3号 フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書 **賛成**

補正予算に「彦根市子どもセンターについて、周辺施設を含めた管理運営について諸課題の整理等を一体的に行う」ことを目的の事業費が盛り込まれ、経費削減がサービスの低下を招く可能性が高く、議案63号および73号に反対。また子どもの教育を受けるための居場所を市が増やせないのであれば、フリースクールの運営に対し、公的支援で市が責任を持つべきことから請願3号に賛成。

討論の対象議案 議案第71号 彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案 **反対**

請願第 2号 彦根市立ふれあいの館の存続を求める請願書 **賛成**

請願第 3号 フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書 **賛成**

ふれあいの館の閉館は利用者や地域住民の声を聞かずに進められたことが問題で、財政面での閉館の必要性も具体性に欠け、閉館ありきで進行する議案第71号に反対し、請願第2号に賛成。また、フリースクールへの公的支援は、不登校児童生徒の増加に対応し、多様な学びの場の提供につながる。これにより全ての子どもに平等な教育機会を確保できるため請願第3号に賛成。

討論の対象議案 議案第71号 彦根市立児童館条例の一部を改正する条例案 **反対**

請願第 2号 彦根市立ふれあいの館の存続を求める請願書 **賛成**

児童福祉法に基づき児童館は増やすべきであり、機能集約は不適切。次に、保護者の意見を聞かずに閉館を進めるのは児童福祉法に反し、市の責務を果たしていない。最後に、財政再建には保護者の声を聞くことが重要であり、閉館では市の活力は生まれなため議案第71号に反対、請願第2号に賛成。

討論の対象議案 議案第81号 令和5年度(2023年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて **反対**

2023年度は物価高騰等で、市民の暮らしへの支援が求められていたにも関わらず決算では不用額が10億円を超え、検証が必要である。市民にとってささやかなサービスですら切り捨てられようとする大元は、やはり来年の国スポ・障スポである。暮らしが大変なときだからこそ、地方自治体として、市民の命と健康を守るべく独自施策を發揮すべきと考え反対。

討論の対象議案 意見書案第4号 えん罪被害者の救済のための刑事訴訟法の再審規定の早期改正を求める意見書案 **賛成**

現行法ではえん罪を晴らすまでの道のりは極めて長く厳しく、えん罪は最大の人権侵害と言われている。国会では超党派の議員連盟が法改正のため動いており、証拠開示の制度化、検察の不服申立て禁止、再審請求手続きの整備の3点を要望書として法務省に提出しているが、議員連盟の構成員は国会議員の半数以下である。意見書を国に上げることにより早期の法改正につなげるため賛成。